

令和5年度 波佐まちづくりセンターの主な取組

事業名

ふるさと学習会（金城地域6センター連携事業）

P

●事業実施に至った背景、目的

平成20年金城自治区6公民館の頃より「ふるさとのひと・もの・こと」について学び、ふるさとへの愛着と誇りをもつことをねらいとして6公民館持ち回りで各館年2回の学習会を開催し金城地域まちづくりセンターになっても学習会は継続している。当初は、石見地域を研究してこられた方や素晴らしい体験をしてこられた方を講師にお願いしていた。また、平成24年度は古事記1300年に因んで「古事記と石見神楽」をテーマに出雲地域からも講師を招聘した。その後、各方面から多様な内容について講師を招聘している。お出かけ学習会も行い浜田、江津市内、旭町に出向いている。このような目的で、各センターで毎月1回午前中に開催し、地域の皆様にはご都合のつく会場へ気楽に参加していただいている。

D

●事業の概要

- ① 日時：令和5年4月19日 場所：波佐まちづくりセンター 多目的集会室
内容：大人の新聞教室～新聞を楽しもう～ 講師：山陰中央新報社記者
ねらい：新聞の基本を学び、より楽しく、深く新聞を活用する方法を学ぶ。
○文章構成や効率的に読む方法や、新聞の活用法としてスクラップの体験を行った。
- ② 日時：令和5年10月18日
場所：波佐まちづくりセンター・ウインドファーム浜田風力発電所
内容：持続可能な未来を築くための再生可能エネルギー
講師：KKグリーンパワーインベストメント職員
ねらい：地球環境への負荷や気候変動の問題に対処するために、再生可能エネルギーは重要な役割を学ぶ。前半は講演、後半は移動して風力発電所へ行き29基が一堂に見える風車を見学
○エネルギーに関する基本的な知識や再生可能エネルギーの役割についての解説。風力発電所ではブレード（羽）の角度について説明。

C

●事業実施後の振り返り

- ①「大人の新聞教室」が掲載されており記事を楽しく読むコツを学ぼうと計画した。
- ②地元に施設があるが話を聞く機会や風車の見学も難しい。少しでも環境について考えるきっかけになれば良いと考えた。
- ③参加者の声『新聞が毎日の楽しみ、読み方の心がけを学んだ』『カーボンニュートラルを達成するために、クリーンな風力発電の必要性を感じた。』良いきっかけ作りであった。

A

●令和6年度以降の方向性

- ・毎年の事だが、1回終われば次回の内容・講師を考える。
このことが最大の悩みである。6センターの情報を得て、地域で頑張っておられる人・団体の方々にも声掛けしている。そして地元の方に参加して頂き、波佐の魅力を地域外に発信したいと考えている。



4月19日



10月18日